

さいたま市議会 2月定例会 提出議案について

令和6年2月2日（金）

市長定例記者会見

さいたま市議会 2月定例会 提出議案

提出議案数 85件

(内訳)

予算議案	33件
条例議案	23件
一般議案	15件
道路議案	2件
人事議案	12件

1. 令和6年度当初予算案の特徴

～選ばれる都市として、
さいたま市の新時代へのシンカに取り組む予算～

2. 令和6年度当初予算案における4本の柱

- (1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化
- (2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現
- (3) 激甚化する自然災害への対策強化
- (4) DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造

3. 予算規模

一般会計、全会計予算総額ともに**過去最大**の予算規模

一般会計	7,120億円	(前年度比 +430億円 +6.4%)
特別会計	3,355億円	(前年度比 +110億円 +3.4%)
企業会計	1,342億円	(前年度比 △13億円 △0.9%)
全会計	1兆1,816億円	(前年度比 +528億円 +4.7%)

※ 端数処理のため、合計とは一致しない場合がある。

令和5年度補正予算を含めた「16か月予算」(一般会計 7,355億円)

国の補正予算に伴う物価高対策としての住民税非課税世帯等に対する給付金の支給や防災・減災、国土強靱化の推進などについて、迅速かつ切れ目なく実施するため、令和5年度12月補正予算から令和6年度当初予算までの16か月予算として編成

4. 4本の柱 ①

(1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化【総額 213億4,077万7千円】

コロナ禍を乗り越えた新たなステージ、21世紀半ばを見据えた「さいたま市の新時代」に向けて、本市の持つ魅力の深化に取り組みます。

拡大	・ 新庁舎の整備及びさいたま新都心のにぎわい創出	2億1,974万5千円
拡大	・ 浦和駅西口南高砂地区市街地再開発の推進	81億2,688万3千円
新規	・ 大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発の推進	8,510万円
拡大	・ 地下鉄7号線の延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進	1億4,470万8千円
拡大	・ (仮称)次世代型スポーツ施設の整備	1億1,879万6千円
拡大	・ 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の整備	3億4,118万8千円
新規	・ (仮称)武蔵浦和地区新設スポーツ施設(体育館・屋内プール)の整備	債務負担行為設定
新規	・ 沼影市民プール代替候補地の検討	2,695万円

4. 4本の柱 ① 続き

(1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化【総額 213億4,077万7千円】

拡大	・ グリーンインフラの推進	7,737万4千円
拡大	・ ゼロカーボンシティ実現に向けた地域循環共生圏の構築	3億2,790万8千円
拡大	・ 市民・事業者との連携による省エネ・創エネ化の促進	2億792万円
拡大	・ 市役所における省エネルギー化の推進	4,255万2千円
拡大	・ スマートシティさいたまモデルの推進強化とモビリティサービスの拡充・展開	8,455万5千円
新規	・ デジタル地域通貨・市民アプリの導入	11億4,827万6千円
拡大	・ 「さいたまスポーツシューレ」の活用推進	5,982万7千円
拡大	・ 未来に向けた盆栽文化の継承・発展	1億3,418万6千円
		等

4. 4本の柱 ②

(2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現【総額 461億5,142万7千円】

社会経済状況が大きく変化し続ける中、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を基に、誰もが住みやすく持続可能な地域社会の実現に向けた取組を推進します。

拡大	・子育て支援医療費助成の高校生年代への拡大	71億5,339万1千円
拡大	・児童手当・児童扶養手当の拡充	247億7,352万3千円
新規	・大学等進学「夢」支援と低所得の子育て家庭児童進学支援	1,487万5千円
新規	・こども誰でも通園制度（仮称）の試行的実施	4,695万7千円
拡大	・放課後児童クラブの拡充と放課後子ども居場所事業のモデル実施	2億4,628万4千円
拡大	・医療的ケア児受入支援体制の強化と小中学校での看護師による医療的ケアの実施	2億3,661万8千円
拡大	・私立幼稚園等における特別支援教育に対する支援の一層の充実	1億2,339万9千円
拡大	・様々な課題を抱える子どもに対する学習機会と居場所づくりへの支援の拡充	1億4,912万3千円
拡大	・不登校等児童生徒への支援の充実「G r o w t h」	2,400万5千円
新規	・こども・子育て支援の充実・強化のための（仮称）大宮警察署跡地公園の整備	2,176万9千円
新規	・子ども・青少年希望（ゆめ）基金の創設	1,000万円

4. 4本の柱 ② 続き

(2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現【総額 461億5,142万7千円】

拡大	・ 学校、保育所等の給食用食材の物価高支援	10億259万4千円
新規	・ 低所得者支援及び定額減税補足給付金の支給	88億4,086万6千円
拡大	・ 認知症フレンドリーまちづくりセンターの設置・運営	1億4,253万7千円
拡大	・ 高齢者等の移動支援の充実	4,360万8千円
拡大	・ 障害者（児）の移動支援体制の充実	8億4,368万3千円
新規	・ 発達障害者地域支援マネジャーの配置による地域支援体制の強化	1,252万3千円
新規	・ アピアランスケア支援事業の創設	1,807万円
拡大	・ 産後ケア事業の利用者負担軽減措置の拡大	4,275万8千円
拡大	・ 自治会電子回覧板アプリの本格導入	342万4千円
拡大	・ セーフコミュニティの推進	692万5千円
拡大	・ （仮称）さいたま市口腔保健センターの整備	6,478万4千円

等

4. 4本の柱 ③

(3) 激甚化する自然災害への対策強化

【総額 398億2,287万2千円】

近年の豪雨災害を踏まえた治水安全度の向上、橋りょうの耐震補強や落橋防止対策を実施するとともに、地域の防災力の向上や、消防力の強化に取り組みます。

また、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備を推進します。

拡大	・ 流域治水対策としての貯留施設等整備の推進	4億8,813万1千円
拡大	・ 下水道浸水対策の推進	31億5,845万円
拡大	・ 下水道施設の健全化の推進	37億6,290万円
新規	・ さいたま市民医療センターの浸水対策の実施	7,302万5千円
拡大	・ さいたま市消防力整備計画に基づく消防力等の体制強化	4億8,366万円
拡大	・ 消防車両等の更新整備	9億7,714万2千円
拡大	・ 消防団の充実強化による地域防災力の向上	4億2,737万5千円
新規	・ 消防救急デジタル無線基地局設備の更新	6億円
新規	・ 次期消防緊急情報システムの整備	2,583万3千円
新規	・ 救急自動車への自動心臓マッサージ器の整備	780万5千円
拡大	・ 幹線道路整備・道路環境整備の推進	259億6,179万6千円
		等

4. 4本の柱 ④

(4) DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造 【総額 100億3,874万6千円】

多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、従来の行政の在り方を絶えず見直します。

また、多様化・複雑化する行政課題に柔軟に対応するため、「公」と「民」との連携を推進し、行政コストの削減を図りながら、質の高い公共サービスの提供を目指します。

拡大	・ 窓口手続オンライン化の拡充と書かない窓口の導入	7,004万5千円
拡大	・ キャッシュレス決済の対象拡大	1億1,580万9千円
拡大	・ 学校給食費公会計化の実施	58億1,775万6千円
拡大	・ 働きやすい職場環境整備の推進	2億2,426万8千円
拡大	・ 基幹業務システムの標準化対応	31億4,475万5千円
新規	・ 電子文書管理システムの機器更新による文書事務の効率化	1億8,480万7千円
新規	・ 物品購入等・業務委託契約における入札参加資格審査及び入札手続等の電子化	1,465万4千円
拡大	・ 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化	7,630万9千円
拡大	・ 公民連携によるJCHOさいたま北部医療センター跡地利活用の推進	289万8千円
新規	・ クリーンセンター大崎施設維持管理の長期包括委託の導入	債務負担行為設定
拡大	・ 小中学校における水泳授業の民間委託化の拡大	9,946万7千円
		等

5. 主な事業 ①

(1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化 //

- **新庁舎整備に向けた基本設計受注者選定等の準備とさいたま新都心のにぎわい創出** 【2億1,974万5千円】
市役所新庁舎の移転整備を見据えたまちづくりの検討を実施するとともに、新庁舎の整備に向け、基本設計受注者選定手続等の準備を行います。
- **浦和駅西口南高砂地区市街地再開発の推進** 【81億2,688万3千円】
商業・業務機能、文化・交流機能の集積や、交通結節機能・都市防災機能の向上を図るため、浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業を推進するとともに、浦和西口停車場線等の整備を実施します。
- **大宮駅東口公共施設再編と大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発の推進** 【9,197万5千円】
官民連携によるまちづくりを推進し、旧大宮区役所跡地等の活用に向けた実施方針について検討します。また、大宮駅東口大門町3丁目中地区市街地再開発事業を支援し、本市の都心としての拠点性と防災性の向上を図ります。
- **地下鉄7号線延伸と浦和美園・岩槻地域成長発展・リノベーションまちづくり** 【1億4,470万8千円】
都市鉄道等利便増進法に基づく鉄道事業者による申請手続の早期実現のため、鉄道事業者と一体となって取組を進めるとともに、地域の魅力を高め、定住人口及び交流人口の創出や中間駅周辺のまちづくりを推進します。

5. 主な事業 ②

(1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化（続き）//

- （仮称）次世代型スポーツ施設の整備に向けた事業者公募準備 【1億1,879万6千円】
与野中央公園におけるメインアリーナ、サブアリーナ及び結節空間からなる（仮称）次世代型スポーツ施設の整備に向けて、埋設物撤去工事、整備等事業者の公募準備等を行います。
- 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校整備の実施設計 【3億4,118万8千円】
学校規模による課題の解消とともに、教育の質の向上を図るため、武蔵浦和駅周辺地区に義務教育学校を整備するための実施設計を昨年度に引き続き実施します。
- （仮称）武蔵浦和地区新設スポーツ施設の基本計画の策定着手 【債務負担行為設定】
武蔵浦和地区における新設スポーツ施設（体育館・屋内プール）の整備に向けて、公民連携手法も踏まえた基本計画の策定及びPFI等導入可能性調査を実施します。
- ゼロカーボンシティ実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大 【3億2,790万8千円】
ゼロカーボンシティの実現に向けて、エネルギーの地産地消の推進体制を構築するとともに、脱炭素先行地域における再生可能エネルギーの導入拡大等の取組を実施します。

5. 主な事業 ③

(1) 新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化（続き）//

- デジタル地域通貨・市民アプリの導入 【11億4,827万6千円】
地域経済の活性化、行政サービスの向上、地域コミュニティの創出及びデータを活用した施策等を実現するため、**デジタル地域通貨を含む統合型市民アプリを導入**します。
- (仮称)さいたまスポーツシューレ推進施設の基本計画検討 【5,982万7千円】
スポーツ人材の育成等、さいたまスポーツシューレの取組を推進するとともに、**(仮称)さいたまスポーツシューレ推進施設の整備に向けて、基本計画の策定等を進めます。**
- 大宮盆栽振興ビジョンと大宮盆栽村100周年記念事業の検討・庭園リニューアル 【1億3,418万6千円】
本市の魅力ある資源である盆栽を活用し、盆栽文化の振興を図るとともに、観光振興等にも寄与するため、**大宮盆栽美術館の盆栽庭園を改修**します。
また、**令和7年度の大宮盆栽村100周年に向け、「大宮盆栽振興プロジェクト」に加えるビジョンを検討**します。

5. 主な事業 ④

(2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現 //

- 子育て支援医療費助成の高校生年代への拡大 【71億5,339万1千円】
子育て環境の充実と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和6年10月から入通院の医療費の助成対象年齢を18歳の年度末まで拡大します。
- 児童手当・児童扶養手当の拡充 【247億7,352万3千円】
児童手当制度の改正に伴い、所得制限の撤廃、対象年齢の拡大、第3子以降の支給額の増額を実施します。また、児童扶養手当制度の改正に伴い、所得制限の緩和・第3子以降の支給額の増額を実施します。
- 放課後児童クラブの拡充と放課後子ども居場所事業のモデル4校での実施 【2億4,628万4千円】
民設放課後児童クラブの施設整備に対する助成のほか、新たに2つの小学校の余裕教室等を活用し、放課後児童クラブの整備を促進します。また、最も身近な小学校の施設を活用し、安心・安全な放課後の居場所を提供するモデル事業を市内4校で実施します。
- 医療的ケア児受入支援体制の強化と小中学校での看護師による医療的ケアの実施 【2億3,661万8千円】
医療的ケア児の受入れを行う私立認可保育所等に対する支援や受入施設の拡大を行います。また、市立小・中学校に在籍する医療的ケア児の学校生活を支援するとともに、保護者の負担を軽減するため、看護師による医療的ケアを実施します。

5. 主な事業 ⑤

(2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現（続き）//

- 私立幼稚園等における特別支援教育に対する支援の一層の充実 【1億2,339万9千円】
私立幼稚園等における特別支援教育に対する支援の一層の充実を図り、特別な教育的支援が必要な幼児に係る幼児教育振興補助金の補助対象人数を拡大します。
- 様々な課題を抱える子どもに対する学習機会と居場所づくりへの支援の拡充 【1億4,912万3千円】
生活困窮世帯の小中学生及び高校生等を対象に子どもの基礎学力の向上や居場所の提供等を目的とした学習支援を実施するとともに、養育環境に課題を抱える児童に対して、食事の提供、生活習慣の形成等の包括的な取組を行う常設型施設を支援します。
- G r o w t hの充実と「学びの多様化学校」の設置検討 【2,400万5千円】
不登校等児童生徒支援センターにおいて、学習支援等を補助する人材やメタバースを活用したオンライン学習を実施し、新たに「学びの多様化学校」の設置に向けた検討を進めます。
- 認知症フレンドリーまちづくりセンターの設置・運営 【1億4,253万7千円】
認知症の方の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らしを継続できるよう、認知症フレンドリーまちづくりセンターを設置し、予防と共生のまちづくりを進めます。

5. 主な事業 ⑥

(2) 誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現（続き）//

- 高齢者等の移動支援の充実（外出促進策検討とA I デマンド交通の実証実験の実施） 【4,360万8千円】
社会福祉法人や地域住民等が主体となり実施する移動支援事業の対象団体数を拡大するとともに、高齢者等の外出・公共交通の利用促進施策の検討や公共交通に課題を抱える地域の高齢者等の移動手段確保のため、A I デマンド交通の実証実験を行います。
- 障害者（児）の移動支援体制の充実 【8億4,368万3千円】
外出が困難な障害者（児）の社会参加を促進するため、外出の際にヘルパーが付き添うサービスを提供します。また、グループ支援の拡大とともに、報酬体系の見直しを行います。
- アピアランスケア支援事業の創設 【1,807万円】
第2次さいたま市がん対策推進計画に基づき、がん患者の治療と社会参加の両立を支援するため、アピアランスケア支援補助金を交付します。
- 産後ケア事業の利用者負担軽減措置の拡大 【4,275万8千円】
育児や体調に不安があり、家族等の協力が得られない産婦に対し、訪問型・宿泊型・デイサービス型の3種類の産後ケア事業を実施するとともに、利用者負担の軽減措置を拡大します。

5. 主な事業 ⑦

(3) 激甚化する自然災害への対策強化 //

- 流域治水対策としての貯留施設等整備の推進 【4億8,813万1千円】
浸水被害の軽減を図るため、流域治水対策として、**流域貯留浸透施設（新開小学校、栄和小学校外）や東徳力調節池の整備**を推進します。
- 下水道浸水対策の推進と下水道施設の健全化 【69億2,135万円】
浸水被害の軽減を目的とした**雨水管（岩槻区東岩槻外）及び雨水貯留施設等（鴨川第13排水区雨水調整池外）の整備**を実施するとともに、**下水道施設の計画的な改築や緊急輸送道路下などの重要な下水道管の耐震化**を推進します。
- さいたま市民医療センターの浸水対策の実施 【7,302万5千円】
さいたま市民医療センターについて、**止水板の設置や排水管逆流防止対策**を実施するほか、**浸水対策を踏まえた設備の維持保全**を目的とした調査を実施します。
- さいたま市消防力整備計画に基づく消防力等の体制強化 【4億8,366万円】
消防・救急体制の充実強化を図るため、さいたま市消防力整備計画に基づき、**消防署所の更新整備並びに消防車両及び人員の増強整備**を実施します。

5. 主な事業 ⑧

(3) 激甚化する自然災害への対策強化（続き）//

- 消防救急デジタル無線基地局設備の更新 【6億円】
複雑多様化する災害に対し、消防部隊を適切に運用するため、**消防救急デジタル無線基地局設備の更新**を行います。
- 救急自動車への自動心臓マッサージ器の整備 【780万5千円】
市民に対して高度な救急サービスを提供するため、**救急自動車に自動心臓マッサージ器を整備**します。
- 幹線道路整備・道路環境整備の推進 【259億6,179万6千円】
災害に強い道路ネットワーク形成のため、**国道122号蓮田岩槻バイパス、道場三室線等を整備**するとともに、自然災害への対策やバリアフリー整備のため**無電柱化を実施**します。また、沿線住民の要望に基づき、**生活道路の整備を実施**します。

5. 主な事業 ⑨

(4) DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造 //

- 窓口手続オンライン化の拡充と書かない窓口の導入 【7,004万5千円】
窓口手続のオンライン化拡充と書かない窓口の導入等により、多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応し、市民の利便性を向上させます。
- 働きやすい職場環境整備の推進 【2億2,426万8千円】
業務効率化やペーパーレス化を図り、職員の多様な働き方を実現するため、デジタル技術の利用拡大・運用に取り組むとともに、職員が使用するデジタル基盤のクラウド化を推進します。
- 基幹業務システムの標準化対応 【31億4,475万5千円】
住民の利便性の向上及び行政運営の効率化のため、住民記録システムなどの基幹業務システムについて、ガバメントクラウドでの稼働に向けた準備を行います。
- 物品購入等・業務委託契約における入札参加資格審査及び入札手続等の電子化 【1,465万4千円】
適正かつ公正な契約事務を遂行するため、本市との契約を希望する業者を対象に、入札参加資格審査及び入札手続等の電子化を推進します。

5. 主な事業 ⑩

(4) DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造（続き）//

- 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化 【7,630万9千円】
まちづくりDXを推進するため、**3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化**や**都市計画基本図の更新等**を実施します。
- JCHOさいたま北部医療センター跡地利活用の推進・事業者公募 【289万8千円】
JCHOさいたま北部医療センター跡地において、公民連携による**スポーツ施設、公民館及び児童センター等**からなる**複合施設の整備**に向け、**整備事業者の公募**等を行います。
- クリーンセンター大崎施設維持管理の長期包括委託の導入 【債務負担行為設定】
民間活力を活用し、クリーンセンター大崎の施設維持管理業務を**長期にわたり包括的に委託**します。
- 小中学校における水泳授業の民間委託化の拡大 【9,946万7千円】
教育の質の向上とともに、持続可能で機能性・合理性を高めた教育環境の整備を実現するため、**水泳授業の民間委託化**を実施します。

6. 子ども・子育て関連施策の充実

各ライフステージに合わせた切れ目ない支援を実施することで、安心して子育てできる環境づくりを推進し、「子育て楽しいさいたま市」の実現を目指しています。

令和6年度当初予算額

1,577.1億円（対前年度 +183.6億円 +13.1%）

◎令和5年度12月、2月補正予算における予算額 40.2億円

◎主に子どもや子育て家庭を対象とする事業に係る予算額
（掲載事業以外も含み、教職員・保育士など経常的な職員人件費は除く）

16か月予算計

1,617.3億円

6. 主な事業

- 子育て支援医療費助成の高校生年代への拡大【再掲】 【71億5,339万1千円】
子育て環境の充実と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、令和6年10月から入通院の医療費の助成対象年齢を18歳の年度末まで拡大します。
- 児童手当・児童扶養手当の拡充【再掲】 【247億7,352万3千円】
児童手当制度の改正に伴い、所得制限の撤廃、対象年齢の拡大、第3子以降の支給額の増額を実施します。また、児童扶養手当制度の改正に伴い、所得制限の緩和・第3子以降の支給額の増額を実施します。
- 放課後児童クラブの拡充と放課後子ども居場所事業のモデル4校での実施【再掲】 【2億4,628万4千円】
民設放課後児童クラブの施設整備に対する助成のほか、新たに2つの小学校の余裕教室等を活用し、放課後児童クラブの整備を促進します。また、最も身近な小学校の施設を活用し、安心・安全な放課後の居場所を提供するモデル事業を市内4校で実施します。
- 医療的ケア児受入支援体制の強化と小中学校での看護師による医療的ケアの実施【再掲】 【2億3,661万8千円】
医療的ケア児の受入れを行う私立認可保育所等に対する支援や受入施設の拡大を行います。また、市立小・中学校に在籍する医療的ケア児の学校生活を支援するとともに、保護者の負担を軽減するため、看護師による医療的ケアを実施します。

7. 脱炭素先行地域づくり事業

本市は、令和2年に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ、いわゆるゼロカーボンシティを目指していくことを表明しました。令和4年には、国の脱炭素先行地域に選定されるなど、ゼロカーボンシティの実現に向けて事業を推進しています。

令和6年度当初予算額

324.2億円（対前年度 +235.3億円 +264.6%）

◎令和5年度12月補正予算における予算額 14.7億円

16か月予算計

338.9億円

7. 主な事業

- ゼロカーボンシティ実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大【再掲】3億2,790万8千円】
ゼロカーボンシティの実現に向けて、**エネルギーの地産地消の推進体制を構築するとともに、脱炭素先行地域における再生可能エネルギーの導入拡大等の取組を実施**します。
- 道路照明灯の一斉LED化 【1億9,402万5千円】
ESCO事業等による、**さいたま市全域の道路照明灯の一斉LED化の工事及び維持管理を実施**します。
- サーマルエネルギーセンターの整備 【289億7,425万1千円】
サーマルエネルギーセンターの**供用開始に向け建設を進め、試運転を実施するとともに運営準備を**行います。
- スマートシティさいたまモデルの推進強化 【5,474万4千円】
「公民+学」の連携・協力のもと、**スマートシティさいたまモデルを推進するとともに、データ連携基盤の活用可能性を検討**します。

8. DXの推進に資する取組

本市では、以下の4つの「目指すべき姿」を見据え、
全庁横断的にDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。
デジタル技術の活用だけでなく、職員の意識改革等も含めて包括的にDXを推進し、
市民サービスの向上と業務効率化に取り組んでいます。

令和6年度当初予算額

95.0億円（対前年度 +31.5億円 +49.6%）

◎令和5年度2月補正予算における予算額 0.8億円

16か月予算計

95.7億円

8. 主な事業

- 窓口手続オンライン化の拡充と書かない窓口の導入【再掲】 【7,004万5千円】
窓口手続のオンライン化拡充と書かない窓口の導入等により、多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応し、市民の利便性を向上させます。
- デジタル地域通貨・市民アプリの導入【再掲】 【11億4,827万6千円】
地域経済の活性化、行政サービスの向上、地域コミュニティの創出及びデータを活用した施策等を実現するため、デジタル地域通貨を含む統合型市民アプリを導入します。
- 基幹業務システムの標準化対応【再掲】 【31億4,475万5千円】
住民の利便性の向上及び行政運営の効率化のため、住民記録システムなどの基幹業務システムについて、ガバメントクラウドでの稼働に向けた準備を行います。
訂正【342万4千円】
- 自治会電子回覧板アプリの本格導入 ~~【31億4,475万5千円】~~
自治会向けICT活用に関する講座を実施します。
また、新たに自治会電子回覧板アプリ導入に必要な初期費用の一部を補助します。

主な条例議案

さいたま市妊婦健康診査費及び子育て支援医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

- ◆ 子育て支援医療費助成金の支給対象を高校生年代まで拡大するため、所要の改正を行うもの。
- ◆ 支給対象者の年齢に係る要件を、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者とするもの。

〔施行期日〕 令和 **6** 年 **1 0** 月 **1** 日